

# アマダイ通信NO. 89b

(Tile fish network letter)

12年スキーシーズン終わる

## 知人・友人各位

4月21日(土)、杉の濃い緑と、若草色の新緑、山桜の淡い桃色の織りなすパステルカラーの関越道を走り、長いトンネルを抜けると、そこはまだ白銀の世界。留学生3名と日本人チューター1人を誘い、ガーラ湯沢でシーズン最後、11回目のスキー。翌日も筋肉痛を感じない丈夫な肉体と、一緒に滑る仲間がいて、来シーズンもスキーを楽しめると嬉しい。何か体にいいことしていますか？

## ◎いい頭してますね！

4月12日、三楽病院で術後9年経過した大腸がんの「定期検診」。通常は術後5年で完治、「大丈夫、もういいよ！」ということになるらしいが、まだ解放されない。術後も本人はいたって元気で、3月に手術して5月の連休には娘と予定通りスペイン旅行に出かけ、お盆休みも娘と海外へ。毎月1回入院して1週間続く抗がん剤の集中投与も五回したが、髪の毛が抜けるなどの副作用もほとんどなし。生命保険会社に出す診断書には「ステージⅢb」の文字。「何ですか？」と聞いても主治医の阿川先生は教えてくれない。小腸との結合部の上行結腸を盲腸もろとも30センチ切除、9か所切り取ったリンパ腺の3か所にがんが転移するという、ステージⅢbのがんで、「ほとんど治癒する見込みなし」だったということ、術後大部経って岩波新書の「胃がんと大腸がん」で知った。

3月14日の胸部(肺)に始まって、上腹部(肝臓)、脳のCTと胃、大腸の内視鏡、血液検査と一月近く続いた検査の結果を聞く。肝臓、肺、脳の順に転移の危険が多い三つの臓器にがんの徴候はなく、胸や脳の血管にも異常はない。肺が一部石灰化していると言われる。学齢前に結核に感染、自然治癒した痕跡だ。遠い昔のことですっかり忘れていたが、今更如何ともし難い。ステージⅢbの大腸がんという大病を克服、「一病息災だ」と思っていたのだが、何のことはない、「塀の内外」の間を危うい足取りで歩いたのはこれが二度目。もっとも歩き損ねて塀の向側に落ちこち、今は取り壊されて公園になった、中野刑務所での足かけ3年の未決での独房生活を入れると3度目の貴重な体験だ。

敗戦直後の昭和20年代、世の中には赤痢、疫痢、腸チフス、日本脳炎、猩紅熱などの感染症が蔓延、特に結核が猛威をふるっていた。既にペニシリンや結核の特効薬のストレプトマイシンなどの抗生物質は開発されていたが、貧しい日本では庶民に簡単に手が届く代物ではなかった。従兄も一人、高校生の時に肺結核で亡くなった。そんな時代に、知らぬ間に取りついた病魔を、学齢前の幼子~~は~~は一服の薬を飲むこともなく追い出した。肋骨の1本、2本切り取って病巣を取らなくても、肺に石灰が沈着していれば肺機能が衰える筈だが、ペルーのマチュピチュ、中国の九寨溝、チベットと名だたる高地を旅しても、高山病に悩むことはない。小学校に上がる頃に素潜りを覚え、大学に入るまで、夏は朝から陽が沈むまでサザエやアワビを漁り、春秋は野山を駆け巡り、冬はスキーに明け暮れる間に、病魔を撥ね退ける頑健な身体が出来上がったのだろうか？

内視鏡の結果は大腸にも異常はなく、胃に加齢による炎症があるのみ。血液検査でも肝機能の指数の $\gamma$ GTPが86と、唯一正常域の60を少し越えているが、夜毎ほろ酔いを重ねての100以下で、問題はなし。温泉で氷に乗り上げ転倒、強打した頭も内出血や梗塞は無く、加齢による脳の萎縮もなし。周64センチの大きなスペース一杯に脳細胞が詰まった石頭を、阿川先生は「いい頭してますね！」と言うが、「頭いいですね！」と言わないのは、地頭の頑健さだけで、「鍛え方が足りませんよ！」と見抜いているということか！？

### ◎命の恩人に恩返しを！

翌日が胃の内視鏡検査という、3月の飛び石連休の中日の18日、日曜日、水上の奥の宝台樹でのシーズン8回目のスキー。いつものように蕎麦屋に直行、鴨蒸籠蕎麦で締め、いい気分で4本滑って休憩中に雨が振り出す。6本滑った所で諦めて宝川温泉へ。4時まで大混浴露天風呂をゆっくり梯子、早目に水上の町を抜け高速に乗るが、次のインターの月夜野で恐れていた大渋滞が早くも発生。議論の上、高速を降りると国道17号も渋滞。迷走の末、同じ渋滞なら赤城で再度高速に戻っても案の定渋滞が続く。駒寄のサービスエリアでお店に残った最後の一つという豚まんとメンチコロッケを食べ、帰宅したのが10時。翌月曜日が胃の内視鏡検査で、前夜9時までに食事を終えるよう指示されていたので、水上のコンビニの鮭おにぎりと合わせ、寂しい晩御飯。

22日(木)は大腸内視鏡検査。前日の食事は大塚のボンカレーならぬ姉妹商品のボンコロ。朝と昼は白粥とフリカケ、麩入り味噌汁、夜がポタージュスープと無果汁ジュース。朝とお昼はデザートにヨーグルトとプリンと、前日は三食とも大塚の医療食のパッケージだが、胃カメラと同じで夜9時まで普通に飲食が出来ると錯覚、医療食のレトルトパック持参で居酒屋でお湯を貰い、ポタージュスープと無果汁ジュースで乾杯。

道中三楽病院の阿川先生から携帯に電話。脳の検査で脳出血が発見されたかと一瞬危惧するが、「うちの病院にも井戸があるよ」との朗報。通信読者の阿川副院長、新規井戸掘り禁止の東京でも、古井戸があれば電源開発が井戸をリニューアルして浄化設備を設置、水道インフラを二重にして事業継続性を高め、併せて水道料金を削減出来る筈という訳だ。序でに脳のCTはどうですか？と聞くと、電話の向こうでパソコンを操り、「大丈夫だよ！」との返事。三楽病院は人工透析はしていないが、270床あるので水の使用量も多く、経済的メリットもあると、電源開発の相棒。命の恩人に恩返し出来る！早速三楽病院の担当部長に連絡、大腸の内視鏡の後に会って頂くことに。翌日は朝から昼までかかって2リットルの経口腸管洗浄剤で身を浄め、三楽病院に向かう。

### ◎古田教授と小川社長

母校の農学部への井水利用専用水道導入の打合わせが、昨夏の台風被害の処理が大変でと延びていたが、年度も替わりそろそろ再開をと東大に向かう。赤門近くで旧知で旧敵？！の古田教授にバッタリ。彼は駒場で2年下、S43年入学LI II9Bクラスの民青の活動家、同じクラスに「弟分の」浅利君がいて全共闘を代表、他に東大の秋入学を打ち出したり、大学改革に邁進する浜田東大総長などもいて、活動の活発なクラスでもよく出入り。教養学部長や副学長を歴任した古田先生は駒場の国際関係学科の教授で、ベトナムが専門。

が世話人(理事)をするNPO法人「緑の地球ネットワーク」の中国山西省の黄土高原緑化活動に協力してくれている牛井のすきや等を経営する全商社長の小川賢太郎君を、母校の渉外担当に紹介したところ大枚のお金を寄付。今度はベトナムの寄付講座を駒場で開

くという。古田先生に期間を聞くと5年間。全商の提供資金は1億を軽く越える。小川社長も古田先生と同じS43年入学の同窓、元全共闘で駒場中退だ。元民青の古田教授のベトナム講座に、元全共闘の小川社長が資金提供。かつて「東大解体」を叫びながら11年も在籍、卒業と中退を繰り返した●が、中退して実業界で成功、巨万の富を積んだかつての仲間を母校と繋ぎ、母校の発展に貢献する。呉越同舟だねと、古田先生と苦笑い。

民営化した電源開発の資金で農学部の古井戸を復活、浄化設備を設置、水道を二重化してセキュリティを高め、水道料金も年間1千万円ほど節約する。●なりの母校への貢献だ。前期の年間売上高4030億円と外食産業トップのグループ総帥として、キャッシュリッチな小川君はダイレクトに母校に貢献するが、●の貢献は間接的だ。これまで東大病院で年間3千万円、高輪の医科学研究所で1千万円、合計すれば軽く1億円は水道料金の削減という形で母校に貢献。水道の二重化、災害時の避難場所の水の確保という形で地域にも貢献。電源開発という他人の禪を借りてではあるが、農学部の1千万円も加えて毎年5千万円、母校に寄付できると嬉しい。

### ◎春の嵐、水商売と硬い商売、新幹線と飛行機

春の嵐が吹き荒れ、全国的に交通大混乱の3月23日、名古屋で顧問先のコンクリート製品メーカーの建研とUR(都市再生機構)の賃貸住宅(昔の公団住宅)の耐震補強工事の営業。古くて耐震性の低い住宅のベランダ側に工場製のコンクリート枠を付加し、居ながらにして、短工期で耐震補強する工法の採用を提案。現場でコンクリートを打って柱や梁を補強したり、上下の部屋の中に金属製の筋違やダンパーを入れたりする工法もあるが、施工費が安い住戸を潰したり、工期が長かったり、騒音が酷かったりなど、それぞれ一長一短。建研のプレキャストコンクリート枠組み工法は、工場で作ったコンクリート製の部材を現場のベランダで組み立て、ベランダの柱、梁、床と一体化してその強度を増す。ベランダ周りだけで作業が終わり、現場での作業時間も少なく、住戸を潰さない分、家賃を多く貰えて、結果的に安く上がる、優れものの工法だ。

最初は生煮えで硬い、変なうどんを名古屋の人間は食べるんだ!と思った山本屋の味噌煮込みうどんにはまってしまって、駅前の地下商店街ユニモールの山本屋が、サラダ代わりに浅漬のお新香が食べ放題だからと指名してご馳走になり、風雨の厳しくなる中を大阪へ。電源開発と合流、スーパーの食品工場を設計中の設計事務所へ。日量3百tの水を使うので、電源開発の井水利用専用水道で水道代を削減出来ないかと、●通信読者の設計部長。隔月に一回三千部印刷、結構なコストを掛けて郵送、馬鹿なことをしていると反省しながら、今更止められないと開き直る「郵便局の革ちゃん」だが、●通信が営業につながると嬉しい。スーパーの既存工場や店舗にも導入、事業継続性を高めることを提案。

電源開発と梅田の地下で別れJR西日本本社へ。風が強く傘をさせず濡れ鼠。北会長が三鷹寮の先輩の、鉄鋼商社阪和興業の役員と一緒に建設工事部長に会い、東北大震災で効果を発揮した新幹線の脱線防止レールやあらためて必要となった耐震補強工事の情報収集。一時間ほどしてスーツも乾き、顧問先の高橋カーテンウォールのコンクリート製外壁が張り付いていく梅田北ヤード再開発現場の超高層ビル群を横目に見てJR本社を出ると、雨は上がるも強風で在来線が混乱。梅田から新大阪まで地下鉄御堂筋線に乗ろうとするが、地上も走る地下鉄なので運休。再度JRへ。遅れて来た新快速で新大阪駅に着くと、乗り遅れ

た筈の5時27分発のぞみがホームで待つ。大幅遅れの博多行きのぞみの運行を打ち切り、新大阪始発ののぞみに仕立て直し、十数分遅れて発車。慌ててホームで買った駅弁と缶ビール、ワンカップの日本酒で出来上がり、新横浜で目を覚ますと、東京までお急ぎの方は隣のホームで待つぞみに乗り換えて下さいとアナウンス。酔って夢見心地の間に、のぞみを一つ追い超すという離れ技！一つ前を走っていたのぞみに乗り換え、品川で山手線のホームに降りると直ぐ電車が到着、ラッキー。遅れずに浜松町着、大江戸線に乗り換えて勝ちどき駅で地上に出ると一時、嵐も上がっている。電源開発の相棒から電話。●の方が一つ多く仕事して、缶ビール2本とワンカップでいい気分、一寝入りして勝関に着いた時に、茅ヶ崎住まいの相棒はまだ小田原駅で足止めを食っているという。

一瞬の晴れ間に濡れずに帰宅した後も暴雨風が続いた、春の嵐が通過した翌朝、飛行機で岡山へ。寮で二年先輩の久保田さんが顧問弁護士の、東証1部上場のサニックスの常務一行に津山のウッドプラスチックパレット工場を見て貰い、中国道を走り笠岡のサニックスの廃プラスチック処理工場も見学。ウッドプラパレットの安価な原料が手に入らないか調査。夜のとぼりの迫る福山から又ものぞみに乗り、駅弁でビールと日本酒を楽しむ。

### ◎人生最後の買い物とエージシュート

昨シーズン、これが人生最後のスキーの買い物と思い、最新の、といっても、一年落ちの前後が丸く幅広で真ん中が細く絞られた、カービングスキーを買ったが、セットで買ったスキー靴が何故か足に合わない。無理矢理足を入れて履いていたが、ついに右足のくるぶし付近が出血。ここ3、4回はカービングスキー初期の、少し長く全体にスリムで、先の尖った古いスキーを履く。不都合はないのだが、前回少し短めのカービングスキーを履きストックなしで自在に滑るスキーヤーが目につき、去年3月13日GALA湯沢単独スキー行に携行、帰りに置き忘れた90センチのショートスキーを思い出す。携帯には便利だが、短すぎて足元がぐらつき、別付けの流れ止めが壊れていた。もう少し長めの130センチのショートスキーなら携行に便利で、ストックなしで快適な滑りを楽しめないか？それに流れ止めビルトインの金具を付け、新しい靴もセットで買い、長いスキーでも使えるようにと、二度目の「人生最後のスキーの買い物」をしてしまう。

3月24日の土曜日、東京は生憎の雨も、宝台樹での9回目のスキーは新雪を楽しむ。スキー場は人出も峠を越したが、道路は事故のせいかな所々混み、8時前に家出たのに着が12時過ぎ。それでも蕎麦屋は席を空けて待ってくれる。ストーブの上で焼いた薩摩芋を、ハイ、デザート！と手渡ししてくれた蕎麦屋の婆さん、老スキーヤーを指差し、あの人95才よ！なじみのリフト券売り場の姉さんと話していると、95歳の男性は私の所の窓口でした。しっかりしてて、その方のお姉様は100歳で昨年他界されたとか。95歳でスキーをする意欲が素晴らしい。●も後30年頑張れるか！？新しい靴が去年買ったカービングスキーの金具にもぴったりで、新しいショートスキーのデビューはもっと後になりそうだが、95歳まで生きたら又、「人生最後の買い物」を何度かしなければいけないだろう。

翌日の小川カントリーでのゴルフ。3日続きの雨は止むが、足元はびしょびしょ。バンカーに打ち込んだボールが水没しても47、48で久しぶり百突破！去年小川カントリー最年長96才のメンバーの小林さんと一緒に回り、エージシュートの小林さんに百台叩き負けてしまったが、95才まで心技体のこの調子を維持出来れば！エージシュートも夢ではな

い！？実現したら、ゴルフクラブとスキーの「人生最後の」買い物を何回楽しめるか？！

## ◎気候変動とエネルギー問題・東大三鷹クラブ第102回定例懇談会

5月17日の懇談会の講師深井有君については本テーマに関する彼の著作(2011年・中公新書)に詳しい紹介がありますが、昭和29年東大三鷹寮入寮、33年理学部物理学科卒業、永らく中央大学で教鞭をとり地球物理・金属物理分野の研究・教育に携わってきました。私は文科系(文一)で、学校を出て商社に進み全く畠は違いましたが偶々三鷹寮で深井君と同時期を過ごした関係から文系・理系を超えた寮仲間数人と共に卒業後半世紀以上経った今でも時折集まって何かと交流を続けているところです。今回の講演もその出版記念に同寮の仲間が集まった席での発案が発端でした。

深井君のことは学生時代から「地球物理の深井君」として馴染んでいましたが一時期水素と金属の研究に深くかかわり世界的に活躍、すっかり「水素の深井先生」になっていたことがありました。然しその後また、地球中心核を探る地球物理学に戻り、更に近年地球温暖化問題と取り組み、誤ったCO<sub>2</sub>地球温暖化説を黙視できず地球物理学、気候学の立場から上記の本の執筆に到ったもので、まさに本来の「地球物理の深井先生」としての面目躍如というところです。一見柔和で優しいが論調は厳しく、正義感の強い彼の人間性もよく覗えます。兎も角、一つの誤った仮説或いは政治的思惑に曲げられた所説が世界の定説、常識のようになっているとすればそれはとんでもない話ですが、それに又真っ向から反論するのも謂わば「天動説」に立ち向かうガリレオに似てかなりの自信と勇気の要ることであつたろうと思います。CO<sub>2</sub>犯人説に対する疑義や反論は諸外国でも日本でもあつたようだけれど何故かあまり大きく報じられず、知らない人が多いと思われまふ。

然し昨年末のCOP17の南ア合意など見ると世界は若干時間稼ぎはしつつも益々CO<sub>2</sub>による温暖化を前提とした動きに走っています。やり様ではその対策と称して莫大な国家的無駄を強いられる問題でもあり、この際先ず前提となる気候変動の真因を徹底して「科学的に」究明すべきでしょう。深井講師の話はその意味で大変有意義なものと思います。

後段のエネルギー問題については、昨年3月、東日本大震災の後を受けて原子力エネルギーの位置づけが大きな問題となりました。地球温暖化とCO<sub>2</sub>の因果関係が薄いとすればCO<sub>2</sub>を出さないからとする原発推進の大義名分はなくなる訳ですが、CO<sub>2</sub>排出の多寡を抜きにして総合的に見た原子力を含む次世代エネルギーに関する考察は極めて時機に即したものと言えます。(S29年入寮 荒木静雄)

日時：平成24年5月17日(木) 18時30分～21時

場所：学士会館本館203号室(千代田区神田錦町3-28) Tel 03-3292-5931)

5000円(会場費、夕食代・飲み物代、通信費など込み)

定員：70名(先着順：定員を超えない限り特に連絡は致しません)

申込先：平賀・干場 Fax 03-5689-8192 電話 03-5689-8182

(有)ティエフネットワーク Email: [tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp](mailto:tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp)

二次会：別途 近くの中国料理店SANKOUEENで、講師参加で行います。

### ◎北修二阪和興業会長(S37年入寮)へ…差し入れありがとうございました

4月7日(土)の三鷹寮の新入生歓迎会、2百人収容の共用棟ホールに入り切れないくらい寮生が集まり、盛会でした。北先輩からの差し入れは濱屋委員長に手渡しました。「資金不足なので大変助かります」と大感謝でした。

一次会には寿司桶をいつもの倍の12桶、OB会から差し入れましたが、あっという間になくなってしまいました。二次会は小グループに分かれ、居住棟のラウンジで飲み会。この時も思った以上に新入生が集まり、「酒と摘みを買って来て！領収書貰って来て！」とやっていました。多分北先輩の差し入れはこの時役立ったのではないのでしょうか！

三次会はずいぶん華屋与兵衛へ。小生の用意した名簿への記載は62名で委員会の連中は書いてなかったもので、参加者は70名ほどでしょうか。翌日ゴルフだったので、11時半くらいに勘定を終えて、帰宅しましたが、まだ盛り上がってました。これを機に交流を深め、切磋琢磨、日本と世界の次代を担う人材に成長、素敵なネットワークが形成できると嬉しいものです。今度の土曜日、GALA湯沢へ今シーズン最後、11回目のスキーに行きますが、シンガポールの留学生達も参加することになり、27日には久しぶり事務所で委員会の諸君とコンパすることになりました。

同日昼は、日本に帰化した元寮生のチャイニーズ三王君(一度転職のお世話をお願いした方です)と食事、仕事の傍ら開発したクリーンルームの清浄度管理ソフトと中語の電子カルテシステムの販売の相談を受けました。彼はハルピン医大卒で中国での医師経験もあるので、電子カルテソフトは3本売れたということです。知り合いのIT企業の経営者やベンチャーファンドと結び、願いを叶えてあげられればと思います。今後とも、宜しくお願いいたします！

### ◎08年入寮、宮本君より

昨日は楽しい会を催していただき、ありがとうございました。またの機会を楽しみにしています。(在寮中はMSCの委員として活躍した宮本君、コロンビア大に一年留学、結果一年留年して法学部を卒業、外資系のコンサルタント会社に就職した筈だが、帰国後時々寮のイベントに顔を出す。留学する学生が少ないと嘆く声を聞くが、留学すると一年卒業が遅れ、学費・生活費を入れて年間5百万円ほどかかるという。濱田東大総長が提唱する秋入学制度もその隘路を打開する試みの一つだが、それでも簡単には留学できない。)

### ◎寮生諸君！東大三鷹クラブの干場です

三鷹寮の同窓会、「東大三鷹クラブ」幹事の干場です。7日の新入生歓迎会の後、遅くまでお付き合い頂き、ありがとうございました。一次会では三鷹クラブから鮎桶を12桶差し入れ、華屋与兵衛は僕のポケットマネーで皆さんにご馳走しましたが、楽しんで頂けましたか？

僕らが過ごした三鷹寮は8名相部屋の、旧制高校の寮の伝統を引き継ぐ自治寮で、濃密な人間関係が築かれ、食堂や風呂を自分達で経営、寮祭や体育祭、近隣の女子大に呼び掛けたのダンスパーティや、合コン、読書会の開催など、「自治の学校」として、共同生活の中で多くのことを学ぶことが出来ました。極め付けが学生運動で、60年代後半の東大闘争でも三鷹寮は東大全共闘の拠点として大きな役割を果たしました。結果として、大部屋の自治寮は「学生運動の巣」になるということで、今のような大学管理の、個室で食堂も風呂もない学生寮に、全国的に建替えられました。

若者が集い、切磋琢磨、将来のためにネットワークを形成するという、かつての三鷹寮の良き役割の幾分かでも提供できればと思い、イベントがある度に寮に出掛けては今回のように、日本と世界の次代を担う人材に育てて欲しい皆さんに、出来るだけ交流とネットワーク形成の機会を提供したいと思っています。今後とも、宜しくお願い致します。今回、名簿にメールアドレスなど書き込んで頂きましたが、携帯のメールアドレスが多かったようです。パソコンのアドレスから、メールを頂けると幸甚です。僕の個人通信「🐙通信」など、送らせて頂きます。以上、宜しくお願い致します。

### ◎チャイニーズなのにエリザベス、シンガポリアンとスキーの打合せ

4月11日(水)、新大阪駅の井水利用専用水道システムを施工費1億5千万円(全額電源開発持ち)で使用水量の半分を井水に替え、毎年2300万円水道料金を削減、水道インフラを二重にしてセキュリティを高め、事業継続を可能にする(BCP)提案と打合せの後、新大阪駅ビルの美々卯でうどんすきと凍結酒を楽しむ。その時、土曜日一緒にスキーに行くAIKOM(交換留学生)のエリザベスさんから、貸ウェアやスキー、スクールの費用が1万円かかるのでは、スキーに行くのは難しいと、SOSのメール。一緒に飲んでいる、越後湯沢に揚水発電所を持つ電源開発の担当者が、知り合いのホテルに連絡、スキーとウェアを貸して貰うことにして、目出度く問題解決。

◇干場さん、お疲れさまです。

14日のスキーの件ですが、AIKOM生の私たちが昨日今月の奨学金が遅くもらえるので、行きたい人は(私も含めて)三人いますが、奨学金がもらうまでに行くのはなかなか難しいと思いますが。

◇分かりました。スキーとスキーウェアは湯沢の知り合いに頼んで、無料で借りる手配をしています。交通費は私の車で行くし、リフト券はJRから頂いてますので、要りません。残りはスキースクール代3500円ですむと思いますが、如何ですか？一緒に滑るのを楽しみにしています！

◇干場さんおはようございます。メールありがとうございます。3500円ならいけます！皆感謝します。

◇エリザベスさん、楽しみにしています！エリザベスさんの他のお二人のお名前と出身国名、携帯電話番号とメールアドレス分かったら教えて下さい！土曜日は8時半に総武線の水道橋駅で待ち合わせることになりました！

### ◎神永先輩(S40年入寮、住友精密社長)からのメール・・・「Subject:三鷹寮出身者」

干場さん

いつも大変お世話になり有難うございます。

さて、先日、シンガポール大使館の一等書記官である、鄭祖糝(テー・チョーシェン:TAY Chor Shen)氏の訪問を受けました。話をしているうちに、東京大学電子情報学科卒で、三鷹寮にいたことが判明しました(2000年代に入ってから入寮のようです)。

三鷹会の話をしたら、非常に興味があるとのことでした。

参加の案内をしてみてもどうかと思い、干場さんにご連絡する次第です。流暢な日本語を話します(並みの日本人よりはきれいな日本語です)。

彼の連絡先は、次の通りです。

テー・チョーシェン ・ 鄭祖糝 ・ 一等書記官 ・ シンガポール大使館 参事官(産業)事務所 Mr TAY Chor Shen ・ First Secretary ・ Office of the Counsellor (Industry)

干場さんから直接連絡を取っていただいてもよろしいですし、こちらから連絡を取ることでも良いです。以上宜しくお願いします。 神永（本日台湾に来ています。）

◇干場です、メールありがとうございます。鄭さんとはさっそく連絡取りたいですね！神永さんがお忙しいようでしたら、小生が直接連絡を取らせて頂きますが、出来ればご一緒に如何でしょうか？三鷹クラブの案内、通信はさっそくメールで送らせて頂きます。年5、6回イベントの度に寮に顔を出しているの顔を会わせているかも知れませんね！

出来れば鄭さんに三鷹クラブで、日本とシンガポールの関係、シンガポールの発展の軌跡、目指すものなどについて講演して頂くというの如何でしょうか？日本企業を誘致するという彼の仕事にも資するし、ネットワークを広げるのにも役に立つでしょう！三鷹クラブにとってもグローバルに展開する魁となり、「老一青」を繋ぎ、若い寮友にアピールする機会になると思います。寮生と語らって、駒場祭や五月祭でも講演会を仕組んでみよいかと思ったりします。以上、宜しくお願い致します！

## 🐘のフィンランド紀行(3)

・近ツリ「フィンランド満喫6日間」2011. 8. 9～

### ⑩どこでもトイレ、万歳！

4日目の朝は先ず名曲フィンランディアを作曲したシベリユウスの名を冠した公園へ。パイプオルガンを模すオブジェは、風の具合で綺麗な音楽を奏するとガイド本にあるが、現地ガイドの前田君は鳴らないとあっさり否定。プロテスタント・ルーテル派の大聖堂とロシア正教会もそれぞれの特徴を現して端麗に聳えるが、フィンランドデザインの傑作、半地下の現代建築、石の教会も素敵だ。赤煉瓦のマーケットホールも見学。新しいスーパーやデパートもあり、若者はそちらへ足を運ぶが、対話しながら量り売りするマーケットは年寄りに人気で、どこの町のマーケットも賑わう。首都のマーケットには最新のブランドショップ、マリエッコも入居。日本にも進出しているが、値段が高いとのことで、古めかしいマーケットのマリエッコショップに日本のCOW達が群がる。

その間に用を足そうとトイレを探すが見つからない。ようやく見つけると鍵がかかっている。雨の中、広場を一周するが見つからない。大都会のど真ん中では、中国の黄土高原植樹ツアーのようにトウモロコシ畑に姿を消す訳にも行かず、コンビニもパチンコ屋もない。仕方なく戻ると若い男の子がトイレの鍵をいじっている。聞けば有料トイレでお金を回収しているという。一回50セントだ。財布の中の硬貨を出して見せるが、全部アメリカの硬貨だという。同情したのか？ただで入れてくれる。危うくセーフ。額に脂汗、ほうほうのていでマリエッコに戻るとCOW達はまだ買う最中だ。

勝部君がトイレはどっちと聞く。こっち！50セントと教えてやるが、しばらくして50セント入れてもトイレに入れない！と、青い顔をして戻って来る。一緒にトイレに駆けつけると男二人と一緒にトイレから出て来る。二人でトイレに入りっ放しだったからかと納得。お昼は前



菜、ポーク料理、デザートと旅の葉にあるが、一週間も経つと何を食べたか定かでない。トイレ探しの印象が強烈だったからか？コンビニでもホテルでも、パチンコ屋、喫茶店でも、どこでもトイレの日本は素晴らしい！どこでもトイレ万歳！

### ⑩時空を超えて！

4日目の午後から5日目の午後2時、ホテル集合で空港に出発するまで丸1日自由時間。この自由時間に丸山駐フィンランド大使に会うために選んだツアーだが、大使は地方出張で不在、翌朝10時にホテルに迎えに来て頂くことに。買物をするという勝部夫妻とは夕方ホテルのロビーで待合せ、アテネウム美術館を閉館の6時まで見て、それからヘルシンキ滞在9年目の若いガイド前田さんお勧めのフィン料理のレストラン、フィッシュマーケットに行こうということになる。魚市場の中のレストランでは如何なものかと懸念も出るが、魚市場の近くにある美味しいレストランとのことで、期待が高まる。

イケメンの前田君、日本で恋に落ち、フィンランド娘に拉致されたという。日本から一番近いヨーロッパ、隣の隣の国とは言え、言葉も生活習慣も違う国で生活する決意をさせる紅毛碧眼はきっと素敵なお娘に違いない。紅毛碧眼娘は教員で2700ユーロの月給から800ユーロの税金を引かれ、消費税23%(食料は13%)と税金は高いが、大学は全部国立で、大学まで教育費は無料、小中学校では教科書はお下がりだがノート、鉛筆も無料だ。ヘルシンキ都心の65平米の2LDKのマンションを月900ユーロ(12万円)で借りて住む。大体賃料月15万から20万円のマンションだと分譲で7~8千万円から1億円だという。

エレベーターホールの深紅の大きなソファ？オブジェ？に横たわり、携帯で紀行文を打ちながら勝部夫妻を待つ。4時半頃にホテルの近くのヘルシンキ中央駅を目指すと、アテネウム美術館は白い工事シートに覆われ、19世紀中頃の民族意識高揚運動の結晶の建物外観を見ることが出来ないのは残念だが、ムンク、ゴッゲン、ゴッペン等内外有名作家の作品を展示する。名前は忘れたが、写真のように艶やかに浮き出てくるフィンランド印象派の画家の作品が印象的だ。6時の閉館で追われるように美術館を出て、居並ぶブランドショップをウィンドウショッピングしながらレストランへ。緑地帯のある広い通りに出て左折する。名古屋の久屋大通りのような広い道の両側に素敵なお店やレストラン、カフェが並び、真ん中の広い歩道では楽器の演奏やパフォーマンスが、オープンカフェで語らう男女を盛り上げる。少し先に港が見える。この辺りだろうと思う所に歩道に張り出したテラスのあるレストラン。いい雰囲気。「Finish Restaurant」とあり、肉だけでなく魚料理も、トナカイ肉もある。ガイドの前田さん、FinishとFishを間違えたんだ！日本人だから仕方ないよね！と勝手に決め付ける。先ずトナカイステーキ、ラムも温かい内は美味しいよねと赤ブドウ酒煮も頼み、魚は鯧の幼魚のフライを頼む。一昨日のザリガニシーザーサラダが美味しかったね！と海鮮サラダも頼む。それぞれ地ビールとスパークリングワインを頼み、🍷はビールを水代わりに例の地酒もやる。フィン料理は不味いというけど、トナカイもラムも鯧も皆美味しいじゃない！と店名をよく見ると「Finnish Restaurant」。Finishではない。間違えたのは僕らだったと大笑い。

翌朝10時に丸山大使夫妻がホテルに迎えに来てくれる。大きな黒塗りの公用車で来るのかな？と思ったのだが、奥さん運転のプリウスは大人5人乗るには窮屈だ。日本国代表として日本のハイテクを宣伝しているのだろう。一昨日の夜ヘルシンキに入った海岸沿いの道を途中で戻り、橋を渡って対岸の島へ。電動の立派な門が開き海辺の広い公邸に入る。土曜日で日

本から同行の調理人、メイドや庭師も休み。広い公邸に2人だけだが、夜は派遣の警備員が門の脇のプレハブで不寝番をするという。公邸でこれが一番高い絵だという伊東深水の額縁の中の美人とツーショット、緑の庭でお茶を頂く。調理人が休みでホテル近くのデパートの中華料理屋へ。中国大使推薦の店で美味しい。

かつて東大の三鷹の寮で起居を共にし、世の中を変えようと一緒にスクラムを組んだ仲間が異国で再会。官界で順調に階段を登り、異国で日本国を代表する丸山大使。日本を代表する国際通信の大企業で腕を奮い、その経験を生かし独立、ベンチャーファンドを率いて国際的に活躍するナレッジカンパニー社長の勝部君。駒場で7年、法学部を2年、計9年かけてようやく大学を卒業、その間7回警察に捕まり、未決とはいえ足掛け3年刑務所生活、40歳で社会復帰、50歳で独立、学生時代からの顔の広さを生かして営業コンサルタントを起業、かつての仲間達に助けられながら生きるはみ出し者の●。三者三様の人生航路を重ね合わせるように、時空を超えて異国で盃を重ね、帰国の時が迫る。(完)

### ◎最後に

海外旅行の紀行文や緑の地球ネットワーク絡みの記事に加え、元留学生からのメールも載ったり、●通信も国際的になりましたね！と言われたりする。経済や政治のグローバル化の反映であろうか？経済や政治の垣根が低くなれば、自ずと世界はフラット化する。今のところ、貧富の格差も世界中に広がっているが、全体的に豊かになれば富のフラット化も進まないだろうか？そして火の球となって地球が減びると言われる46億年後を座して待つのではなく、世界市民が一丸となって英知を結集、地球を脱出、新たな住処を人類は宇宙に築くことが出来るのだろうか？再見！